

「日々の理科」(第705号) 2016 (H28)-6,11
水彩画教室「八高線槻川橋梁」
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

八王子と高崎(正確には倉賀野)を結ぶ八高線は 現在でも高麗川から北が電化されていません 埼玉県では唯一 気動車(ディーゼルカー)が走る「貴重な」鉄道線区です 高崎行きの列車に乗ると 小川町駅の少し手前で槻川(つきかわ)を渡ります 子どもの時 この鉄橋を渡る「ゴーツ」という音と「まもなく小川町 小川町です」という車掌さんの声を聞くと「おばあちゃん家(ち)もうすぐだ!」と嬉しくなったものです 現在はきれいなグリーン・ストライプの気動車が 一日に上り・下り約20往復ずつ渡っています



これが完成した絵です



1、列車の顔は重要ですが 少し歪んでしまいました



2、窓の反射は研究材料 床下機器の省略表現が難しいです



3、鉄橋の表現もなかなか難しいです 西日を意識して描きます



4、橋脚の立体感は大切ですが ややわざとらしくなっていました



5、遠くのマンションも 現在の小川町らしい風景です



6、河原の雑草の反映も大切な要素です